

第99期 中間株主通信

平成23年1月1日から平成23年6月30日まで



東亜合成株式会社

証券コード 4045

- 01 株主の皆様へ
- 03 セグメント別概況
- 05 東亜合成グループの現在、そして未来
- 09 トピックス

裏表紙のアンケートにご協力ください！ 抽選でアロンアルファ®とはがし隊をプレゼント!!



東亜合成グループの英知を結集し、
グループ全体としての企業価値を高めることを通じて、
株主の皆様のご期待に応えてまいります。

代表取締役社長 橋本 太



当第2四半期連結累計期間の概況についてお聞かせください。

A. 当第2四半期連結累計期間における世界経済は、高い経済成長を続ける新興国において金融引き締めを契機とした景気減速が懸念されはじめるとともに、欧州債務不安の広がり、米国における景気回復の遅れなど先行き不透明感が増す中で推移しました。日本経済は、新興国の需要に支えられ、緩やかな回復の兆しがみられたものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響により国内の経済活動が深刻な打撃を受けるとともに、原油をはじめとした資源価格の高騰、円高の進行、電力供給懸念の広がりなど、企業経営を取り巻く環境は厳しいうちに推移しました。

このような状況のもと当社グループは、アジア市場での拡販、継続的なコスト削減、原燃料価格の上昇に応じた製品価格の是正などに積極的に取り組み、収益の確保に努めました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は784億7千4百万円（前年同期比3.5%増収）、営業利益は103億4千万円（前年同期比2.2%増益）、経常利益は105億1千万円（前年同期比4.9%増益）、四半期純利益は、58億3千5百万円（前年同期比4.4%増益）となりました。

ポイント

- アジア市場での販売が好調に推移し、前年同期を上回る売上、利益を確保
- 一部製品で震災の影響を受けたものの、業績全体への影響は軽微
- 通期の当期純利益は、過去最高益更新を見込み、配当は前期比1円の増配を計画

Q. 通期の見通しについて
お聞かせください。

A. 平成23年12月期通期の見通しにつきまして
は、当第2四半期連結累計期間の業績が改善
したことに加え、7月1日に効力を発生した株式交換契
約により、アロン化成(株)を完全子会社化したこと
に伴う負ののれん発生益30億円が計上されるため、当
期純利益につきましては、過去最高益を更新した前期
を上回ると予想しております。通期の業績につきまして
は、売上高は1,625億円(前期比5.7%増収)、営業利
益は205億円(前期比3.6%減益)、経常利益は205億
円(前期比2.1%減益)、当期純利益は145億円(前期
比10.4%増益)を予想しております。

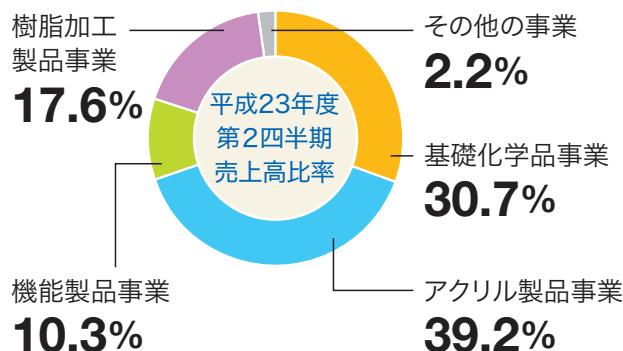
Q. 株主の皆様へメッセージを
お願いします。

A. 当社は、平成23年7月1日をもってアロン化成
を完全子会社化しました。これにより、当社の
化学分野における技術とアロン化成の樹脂成形・加工
技術との相互補完による新たな事業展開が期待でき、
事業基盤の強化につながるものと考えております。グ
ループ全体としての企業価値を高めることを通じて、
株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えており
ます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変
わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げ
ます。

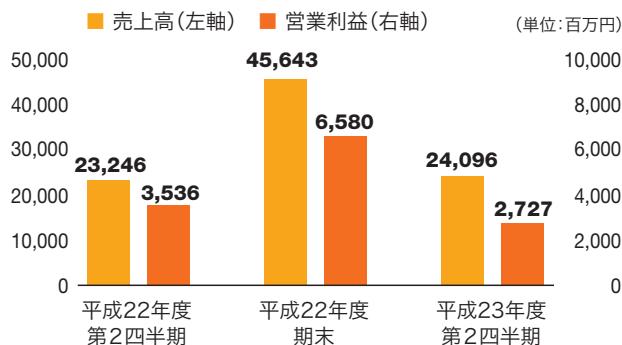
セグメント別概況

セグメント別売上高比率



基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、次亜塩素酸ソーダの需要が伸長したものの、その他の製品は震災の影響により需要が全般的に落ち込みました。一方、硫酸は、底堅い需要に支えられ販売数量が増加しました。また、本年4月よりヴィテック(株)から塩ビ樹脂製造設備を譲り受け、あらたに受託生産を開始したことによる新規販売分が売上高の増加に寄与しました。



セグメント別売上高・営業利益

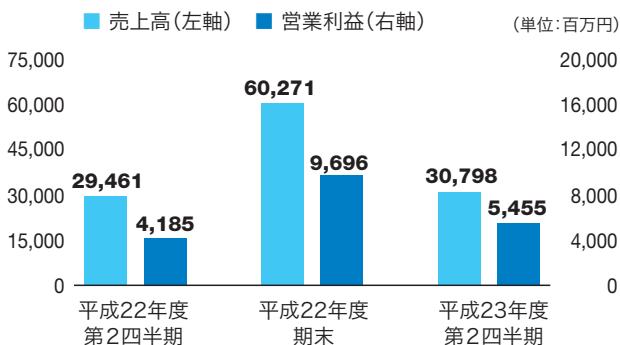
(平成23年度第2四半期)

(百万円)

	売上高	営業利益
基礎化学品事業	24,096	2,727
アクリル製品事業	30,798	5,455
機能製品事業	8,084	1,541
樹脂加工製品事業	13,801	783
その他の事業	1,693	△ 156

アクリル製品事業

アクリル酸エステルは、海外での市況高騰が続くとともに、国内でも製品価格の是正に努め、収益が大きく改善しました。アクリル系ポリマーは、震災の影響を受けましたが、代替生産などに努め、収益を確保しました。一方、高分子凝集剤は、需要の低迷と原燃料価格の上昇により苦戦し、光硬化型樹脂「アロニックス®」は、需要の落ち込みから販売数量が減少しました。



※第1四半期連結会計期間において事業セグメントの区分を変更したため、前期の売上高、営業利益は、旧セグメントの実績を新セグメントに組み替えた参考値です。

セグメント別主要製品

● 基礎化学品事業

苛性ソーダ、苛性カリ、液体塩素・塩酸などの無機塩化物、無機高純度品、硫酸、工業用ガス等

● アクリル製品事業

アクリル酸、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマー、高分子凝集剤、光硬化型樹脂等

● 機能製品事業

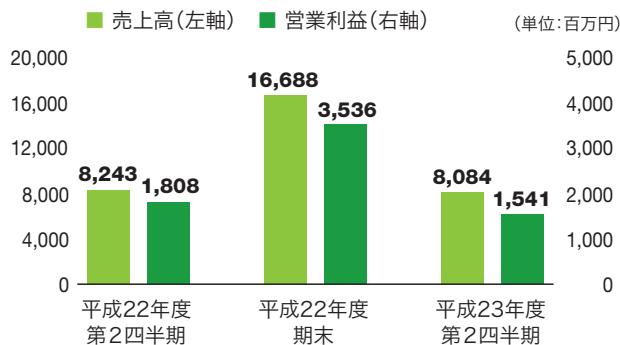
接着剤、無機機能材料、エレクトロニクス材料、建築・土木製品等

● 樹脂加工製品事業

管工機材関連製品、ライフサポート関連製品、成形材関連製品、環境ビジネス関連製品

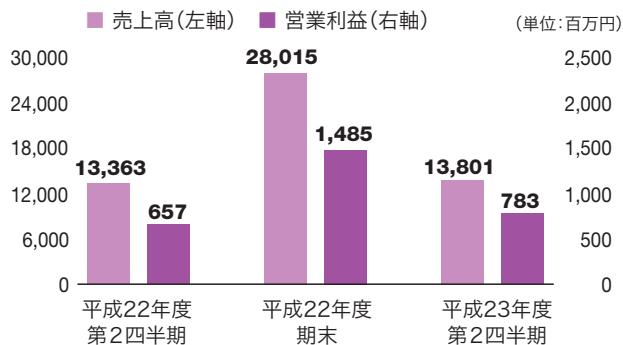
機能製品事業

接着剤は、一部製品の販売数量が減少したものの、一般用用途の安定した需要に加え、工業用用途も需要が伸長したため、堅調に推移しました。無機機能製品は、一部製品の出荷が伸び悩んだものの、環境・アメニティ製品の需要が堅調に推移しました。エレクトロニクス材料は、シリコン系高純度ガスの需要が堅調に推移したものの、販売価格は下落基調で推移しました。



樹脂加工製品事業

管工機材製品は、主に住宅資材向けを中心に継手、マスの販売数量が増加しました。ライフサポート製品は、介護関連製品の需要が底堅く推移したものの、日用雑貨品の販売数量が低迷しました。成形材は、エラストマーコンパウンドの出荷が堅調に推移しました。

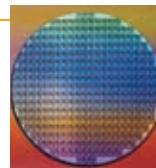


特集：東亜合成グループの現在、そして未来

新中期経営計画“ALL TOA 2013”では、既存コア製品(営業利益10億円以上)を持続的に拡大するとともに、近い将来コア製品に育つことができる製品には積極的に経営資源を投入し、コア製品の数を増やしていく成長戦略を描いています。私たちがコア製品に位置づける代表的な製品をご紹介します。

■ 無機高純度品

半導体、医薬、電子エレクトロニクス業界などの最先端分野に不可欠な高純度・無機高純度品。中でも高純度液化塩化水素は、日本で唯一、当社グループの鶴見曹達(株)が製造しており、半導体、シリコンウエハーの洗浄、エッチング向けに需要が伸びています。



■ 次亜塩素酸ソーダ

上水道の殺菌剤用途に使用される次亜塩素酸ソーダ。安全・安心な水を求める声が高まる中、臭素酸や塩素酸などの不純分を大幅に低減した高品質グレードの次亜塩素酸ソーダを提供しており、水道やプールなど、安全性が求められる用途に利用されています。



■ 光硬化型樹脂「アロニックス®」

「アロニックス®」は、紫外線などの光を照射することにより短時間で硬化する特性があります。熱に弱い材料にも利用できるため、携帯電話やモバイル機器、DVDなどの表面コーティングをはじめ、幅広い分野で使用されており、今後も新たな用途での需要拡大が見込まれます。



■ 高分子凝集剤

MTアクアポリマー(株)では、長年の研究成果による高分子技術をベースに、あらゆるタイプの汚水、廃水、汚泥などを浄化できる各種高分子凝集剤を製造・販売しています。国内だけでなく、水環境分野で成長の著しいアジア全体で需要の拡大が見込まれます。



■ 接着剤

今や瞬間接着剤の代名詞となった「アロナルファ®」は、おかげさまで発売40周年を迎えました。当社グループでは、そのほかにも、多種多様な工業用接着剤を提供しており、携帯電話、情報端末などの電子材料分野でも、幅広く利用されています。



● 思いをかたちに、化学で未来を。東亜合成グループの新事業・新製品。

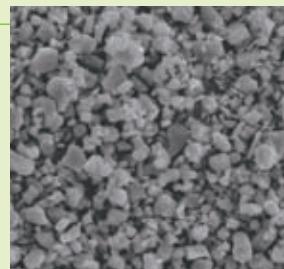
■ エチレンカーボネート

エチレンカーボネート(EC)はこれまでいろいろな用途で使用されてきましたが、近年リチウムイオン二次電池用電解液の原料として注目を集めています。平成22年6月、三井化学(株)と合併でMTエチレンカーボネート(株)を設立し、本年末には三井化学大阪工場敷地内に製造設備が完成します。ECは優れた溶媒機能を持つため高純度化することによって、半導体分野でも使用できる可能性があります。当社名古屋工場内に精製EC製造プラントを建設して高純度品を提供するとともに、高純度品の特性を生かした幅広い用途展開、用途開発を進めていきます。



■ 低熱膨張性フィラー「ウルテア®」

低融点ガラスは、水やガスに弱い発光層を保護するプラズマディスプレイパネル用封着剤など、さまざまな電子材料の封着や接着に使用されています。この低融点ガラスには、環境負荷低減のため鉛フリーのガラスが使用されるようになりましたが、温度変化による膨張・収縮が大きく、はがれやひび割れが起きるという問題があります。当社グループが開発した低熱膨張性フィラー「ウルテア®」は、添加することで低融点ガラスの熱膨張を抑制し、封着状態を良好に保つことができます。また、耐熱性、耐薬品性に優れ、粒径が均一でほかの物質と混ざりやすく、有害金属を含まないため安全性が高いなど、多くの特長があります。ガラス以外にも各種樹脂への添加で熱膨張を抑制する効果が認められており、今後の市場拡大が見込まれます。



ウルテア®

連結財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)	増減額
流動資産	87,941	85,438	2,502
固定資産	86,372	88,408	△ 2,035
総資産	174,314	173,847	466
流動負債	38,176	36,968	1,207
固定負債	10,951	11,851	△ 900
① 純資産	125,186	125,027	159
負債及び純資産	174,314	173,847	466

POINT ①

「自己株式」を取得したものの、「利益剰余金」などが増加したため、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億5千9百万円増加し、1,251億8千6百万円となり、自己資本比率は63.3%となりました。

POINT ②

アジア市場での拡販、製品価格の是正などに積極的に取り組んだ結果、営業利益は前年同期に比べ、2億2千1百万円増加し、103億4千万円となりました。

損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	増減額
売上高	78,474	75,853	2,621
② 営業利益	10,340	10,118	221
経常利益	10,510	10,017	493
四半期純利益	5,835	5,588	246

POINT ③

自己株式の取得による支出が増加したため、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が50億6千4百万円増加し、61億9千6百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

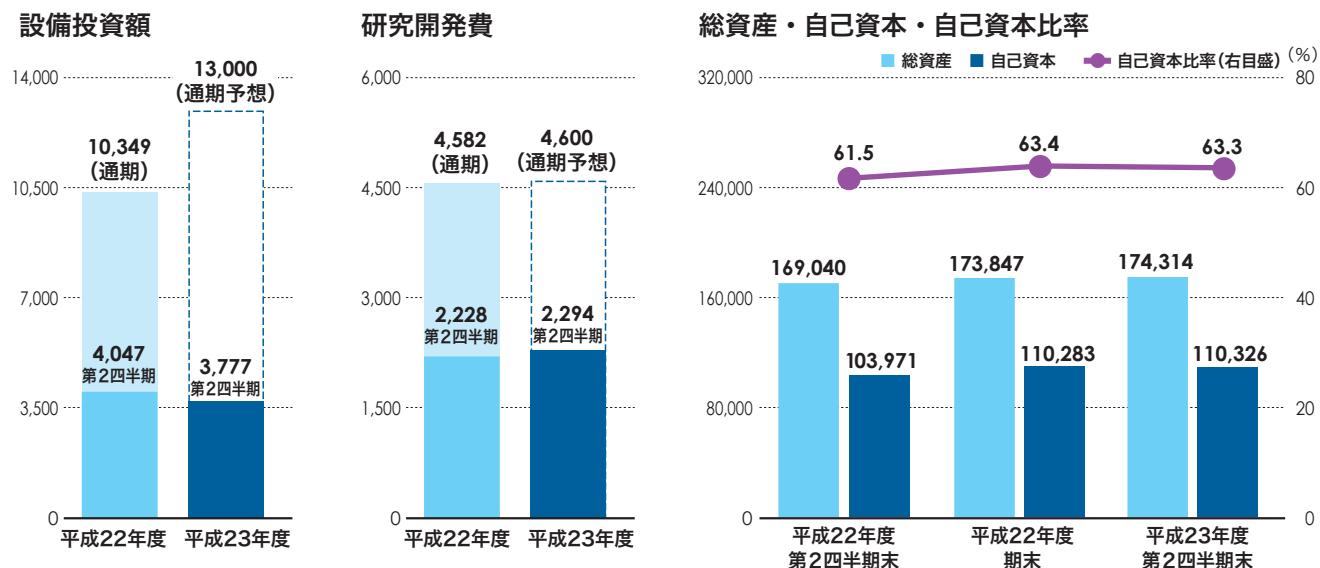
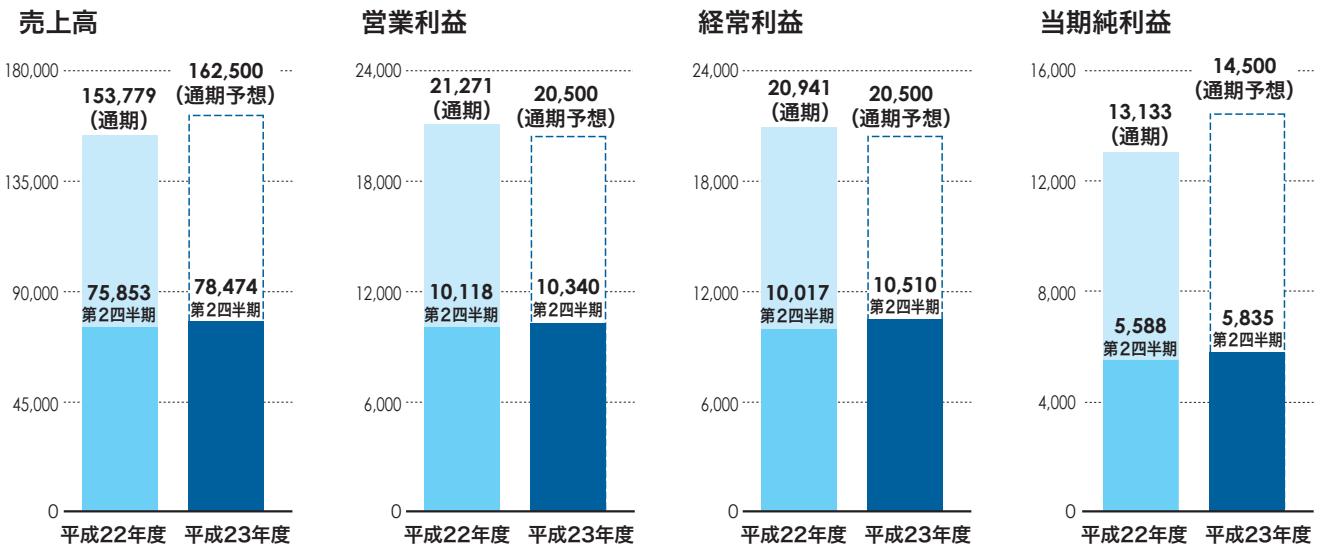
	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,064	13,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,923	△ 5,766
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,196	△ 1,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,548	19,252

▶ 配当について

当期の業績等を踏まえ、株主の皆様への利益還元の見点から、当第2四半期末の配当金は1株当たり5円といたします。年間では10円の配当を予定しており、前期に比べ1円の増配となる予定です。

平成23年度第2四半期

(単位:百万円)



平成23年7月1日をもってアロン化成(株)を完全子会社化しました

当社は、平成23年7月1日をもって、連結子会社であるアロン化成に対する出資比率を株式交換によって100%とし、完全子会社化しました。

アロン化成は開発提案力に強みをもつ樹脂成形・加工メーカーです。昭和26年に国内で初めて硬質塩化ビニルパイプの開発に成功し、継手※1やマス※2の分野ではパイオニアとして市場を開拓してきました。また、組み立て・加工技術を生かした「安寿」ブランドのポータブルトイレなどの介護用品分野でもリーディングメーカーとなっています。現在は、管工機材関連、介護用品関連、エラストマー関連、環境保全関連の4分野を中心に事業を展開しています。

このたびの完全子会社化により、アロン化成が有す

る樹脂成形・加工技術と東亜合成グループが得意とするケミカルの技術を融合させ、いち早くシナジーを生み出し、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

※1 継手：パイプとパイプをつなぎ合わせる部品

※2 マス：下水管路を維持管理するため、管路の要所に設置される点検口

社名	アロン化成株式会社 ARONKASEI CO., LTD.
本店所在地	東京都品川区東五反田1丁目 22番1号 五反田ANビル
設立	昭和25年8月16日
資本金	42億2,000万円

主な事業と今後の展開

管工機材関連



塩ビ製小口径マス・マンホールをはじめとして、公共下水分野において、半世紀にわたり豊富な実績を積み重ねてきました。排水・下水・雨水製品を核に給水製品を加え、給排水全般への事業領域の拡充を目指しています。

介護用品関連



事業規模を拡大するために既存の介護用品に加え、住宅改修用品、移動歩行用品といった新規分野への取り組みを行いつつ、将来的に有望と思われる市場へのリサーチもあわせて行い、介護・福祉用品の総合メーカーを目指しています。

エラストマー関連



エラストマーとは、ゴムのような弾性を持ち、リサイクルできる環境に優しいプラスチック材料です。医療・電子材料などの分野に高機能製品を投入し、新規開発に注力しています。

環境保全関連



PETボトルのリサイクル技術を通じて循環型社会の形成に取り組んでいます。また、生ゴミの減量に役立つコンポエースも環境保全に貢献しています。今後はPET以外のリサイクル樹脂成形技術を確認し、新事業の創出を目指します。

会社概要

本店所在地／〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号

電話 (03)3597-7215(代表)

設立／昭和17年3月31日

資本金／20,886百万円

従業員／連結2,563名

単独 934名

取締役および監査役

代表取締役会長	山	寺	炳	彦
代表取締役社長	橋	本	太	
取締役	有	澤	章	夫
取締役	山	田	勝	敏
取締役	野	村	聡	一
取締役	小	関	健	
取締役	高	村	美	己志
取締役(社外)	滝	澤	英	一
監査役(常勤)	佐	藤	邦	雄
監査役(社外)	佐	藤	勝	
監査役	幡	谷	宣	男
監査役(社外)	三	浦	良	二

株式の状況

発行可能株式総数	550,000,000株
発行済株式総数	263,992,598株
株主数	22,806名

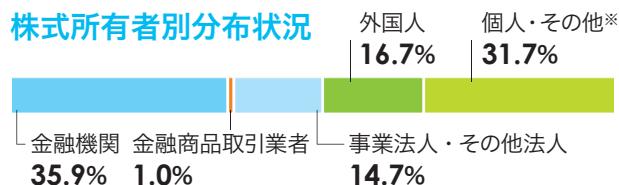
大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,755	5.22
株式会社三井住友銀行	11,636	4.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,131	4.56
東亜合成取引先持株会	6,953	2.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,648	2.31
東亜合成グループ社員持株会	5,539	2.27
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,000	2.05
東京海上日動火災保険株式会社	4,258	1.74
農林中央金庫	3,944	1.61
三井生命保険株式会社	3,654	1.50

当社は、自己株式19,758,971株を保有しておりますが、上記大株主の状況からは除いております。

また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

東亜合成グループの主な関係会社

セグメント別	主な関係会社
基礎化学品事業	鶴見曹達(株)、東亜テクノガス(株)、東亜合成KOREA(株)
アクリル製品事業	大分ケミカル(株)、日本純薬(株)、トウアゴウセイ・シンガポール・ピーティーイー・リミテッド、台湾東亜合成股份有限公司、東昌化学股份有限公司、張家港東亜迪愛生化学有限公司、MTアクアポリマー(株)
機能製品事業	トウアゴウセイ・アメリカ・インク、東亜合成香港有限公司、東亜合成(珠海)有限公司、アロンエバーグリップ・リミテッド、アロン包装(株)、エルマーズ・アンド・トウアゴウセイ・カンパニー、東亜建装(株)、MTエチレンカーボネート(株)
樹脂加工製品事業	アロン化成(株)、ミクニプラスチック(株)
その他の事業	(株)TGコーポレーション、TOAエンジニアリング(株)、東亜ビジネスアソシエ(株)、東亜興業(株)、東亜物流(株)、北陸東亜物流(株)、四国東亜物流(株)

株主メモ

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年3月に開催
- 基準日…………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法…………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人…………… 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-78-2031** (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国
各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社の電話およびインターネットで24時間お受けしております。

■手続用紙受付専用フリーダイヤル(自動音声) 0120-87-2031

■ホームページアドレス

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

- ・口座振替申請書
- ・単元未満株式買取請求書
- ・配当金振込指定書(特別口座用)
- ・変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。

株主アンケート

アンケート実施期間 **平成23年9月30日まで**

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたく考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。
なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】

株式会社アイ・アール ジャパン

株主ひろば事務局 E-mail: inquiry@kabuhiro.jp

アンケートサイト(画面)への接続方法

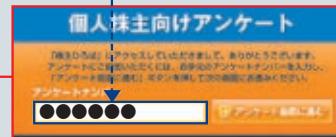
Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば 検索 URL <http://kabuhiro.jp>

ご回答方法

アンケートサイト(www.kabuhiro.jp)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。

アンケートナンバーにつきましては株主の皆様にお送りいたしました株主通信(冊子)をご覧ください。



抽選で**100名様に**
アロンアルファ®とはがし隊を
プレゼント

(当選は発送をもって代えさせていただきます)

